

## ワールドカップ関連情報

2014年6月10日付（W杯まであと2日）

### 1. F I F Aファンフェスタの開催

6月12日から7月13日までマナウス市内のポンタネグラにて「F I F Aファンフェスタ」がF I F Aとマナウス市役所共催、T Vグローボ、T Vアマゾナス後援で開催されます（図1、2参照）。今大会の64試合すべてがファンフェスタ会場内の2つの巨大スクリーン（メインスクリーンのサイズは53㎡）で中継されます。最大収容人数は3万5千人ですが、入場できない人のためにスクリーンがもう1つ会場外に用意されます。入場無料で、開場時間は試合時間に応じて変更されますが、基本的に10時から20時です。マナウスのファンフェスタ開催費用500万リアル（約2.29億円）のうち、マナウス市役所が200万リアルを負担しました。

パブリックビューイングの他、地元のアーティストの公演や、著名歌手のコンサート中継も予定されています。また、会場内のF I F A公式店ではオフィシャルグッズの購入も可能です。既存店舗に加え、ソニーやコカコーラなど6つのスポンサーブースや、60席を備えたフードコート（700㎡）も設置されます。会場内は民間警備員、会場外は警官が警備を担当し、ブラジル戦の日は、約300人の民間警備員、400人の警官が来場者の安全を守ります。

混雑予想

	6月～7月	イベント
非常に混雑	12/14/17/23/25/28/29/04/05/08/09/13	ブラジル戦、著名アーティスト公演日
まあまあ混雑	18/22/30/01/12	マナウスにおける試合開催日、地元アーティスト公演日
あまり混雑しない	13/15/16/19/20/21/24/26	
閉場	27/02/03/06/07/10/11	

### 2. 統合コマンドコントロールセンター（C I C C）落成

6月2日、ワールドカップ（W杯）期間中の治安対策を統括する統合コマンドコントロールセンター（C I C C）の落成式が行われました。C I C Cのオペレーションルームには36画面を表示する11m幅の巨大モニター他、通信端末を備えた35席が整備されており、警察、空港インフラ公社（I n f r a e r o）、伯情報局（A B I N）、交通・保健関係機関など連邦政府、州政府、市役所の30以上の機関の代表により情報が共有されます。また、W杯が開催されるブラジル国内12都市のC I C Cとも連結し、マナウスで公式戦が開催される6月30日まで24時間体制で対応します。

マナウス市内では港、空港、バスターミナル、F I F A関係者が宿泊するトロピカルホテル、選手団が滞在するブルトゥリーホテル（当館注：当館から約250m）とクオリティホテル（同約650m）、公式練習場2ヶ所（サンハイムンド地区とコロアド地区）、アリーナ・ダ・アマゾニア、F I F Aファンフェスタが開催されるポンタネグラなど14カ所が重点箇所として指定されています。

C I C Cの建設費及び先進機材の整備にかかった費用は6.8千万リアルで、移動コマンドコントロールセンター（C I C C M）、高所からの監視が可能な専用車両、ヘリコプターに設置されたリアルタイム航空画像送信機材等を含めると事業投資額は連邦、州予算を合わせて1億リアルに達します。落成式において、ジョゼ・メロ州知事は、C I C Cにより市内各地の遠隔モニタリングや現場警官を迅速、効率的に指揮することが可能であり、C I C CはW杯に限らず州の治安対策に貢献する重要な財産となると強調しました。

(図1) 会場内の様子



(図2) 交通アクセス



出典：マナウス市文化観光財団（Manauscult）

(注) 記事はブラジル主要メディア及び公的機関ホームページからの公開情報を当館の責任でまとめたものです。